

第三セクターの経営情報について

平成27年8月6日

港湾空港局港営課

報告対象団体		小倉国際流通センター株式会社	
会社概要	会社の事業内容	不動産（高度化倉庫）の賃貸業 （ 所有施設の概要 営業開始：平成12年9月1日 規模：延床面積14,596㎡ 構造：鉄骨造2階建 ）	
	資本金額	465,000	千円
	本市の出資額	20,000	千円
	本市の出資割合	4.3	%
	従業員数	1	人
営業報告の要点		小倉国際流通センターを運営し、テナント3社に倉庫貸付を行った。引き続き、経費の削減に努め、「最低のコスト体質による事業運営」を続けていく。 当期の売上高は、80,460千円（前期比▲1,903千円、▲2.3%）となった。	
収支状況の要点	当期純利益（損失）	6,973	千円
	前年度との比較	○営業利益は、14,373千円で、前期比 2,121千円（+17.3%）の増益となった。 ○経常利益は、11,501千円で、前期比 2,619千円（+29.5%）の増益となった。 ○当期純利益は、6,973千円で、前期比 1,336千円（+23.7%）の増益となった。	
	その他 （剰余金・欠損金、設備投資、資金調達など）		
利益（損失）処分	当期末処分利益（損失）	13,649	千円
監査報告		監査役1名が監査を実施した結果、適法かつ正確であった。	
議案		第1号議案 第18期(平成26年度)営業報告の件 第2号議案 第18期(平成26年度)決算報告の件 第3号議案 第19期(平成27年度)事業計画(案)の件 第4号議案 取締役辞任による取締役選任の件 いずれの議案も異議なく承認可決	

(平成27年3月31日現在)

第 18 回

定 時 株 主 総 会

平成 27 年 6 月 24 日
於 小倉港湾労働者休憩所

小倉国際流通センター株式会社

1 営業報告

(1) 営業概況

平成12年9月1日に営業を開始し、15年目を迎えた今期、697万円の純利益（税引前で1,150万円）を計上することができました。

また、長期借入金8億円の内、日本政策投資銀行からの無利子融資3億5千万円をほぼ完済する運びとなりました。（残元金は80万円を27年5月で完済）

(2) 営業方針

「最低のコスト体質による事業運営」

(3) 主要な事業概要

不動産の賃貸業

北九州港における物流機能の整備についての調査及び研究に関する業務

北九州港への航路誘致、集荷のための情報収集、調査及び研究に関する業務

前各号に付帯または関連する一切の業務

2 平成26年度経営課題の総括

(1) 確実な設備点検による修理費の軽減

消防設備点検、垂直搬送機・エレベーター等の保守管理を継続して実施することにより修理費の軽減に努めているが、設備の疲弊に伴う小修繕は増加傾向にあり、これらに備えた積立金の導入等について検討する必要がある。

(2) 稼働率向上に向けた倉庫利用者への協力要請

引き続き顧客へ尽力をお願いした。

3 総務の概況

(1) 総会及び取締役会開催

平成26年5月30日	第61回取締役会 ○ 決算書類の承認 ○ 総会付議議案の決定
平成26年6月24日	第17回定時株主総会 ○ 第17期決算報告及び損失処理案承認の件 ○ 取締役及び監査役任期満了による選任の件
平成26年6月24日	第62回取締役会 ○ 代表取締役の決定

(2) 登記に関する事項

平成26年6月27日	役員に関する事項 (取締役任期満了に伴う就任) 取締役 山田 康雄 重任 取締役 宿輪 亀二 重任 取締役 鶴丸 俊輔 重任 取締役 湯本 明生 重任 取締役 中野 好生 重任 取締役 木村 典史 重任
------------	--

(監査役任期満了に伴う就退任)
監査役 今井 忠道 就任
監査役 後藤 達雄 退任

代表取締役に関する事項

(代表取締役辞任に伴う就退任)
代表取締役 鶴丸 俊輔 就任
代表取締役 宿輪 亀二 退任

4 会社の概況

(1) 株式の状況

- ① 会社が発行する株式の総数 10,000株
- ② 発行済株式総数 9,300株
- ③ 当期末株主総数 11名

④ 株主の状況

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
株式会社上組	1,600	17.20
山九株式会社	1,600	17.20
鶴丸海運株式会社	1,600	17.20
日本通運株式会社	1,600	17.20
山田港運倉庫株式会社	1,600	17.20
日鉄住金物流八幡株式会社	400	4.30
北九州市	400	4.30
株式会社三菱東京 UFJ 銀行	400	4.30
株式会社福岡銀行	30	0.33
株式会社みずほ銀行	30	0.33
株式会社西日本シティ銀行	40	0.44
合計	9,300	100.00

(2) 従業員の状況

	従業員数	備考
男子	1名	但し、業務委託先職員
女子	0名	
合計	1名	

(3) 企業結合の状況…特に該当なし

(4) 長期借入金の返済状況と借入残高

山九(株)、鶴丸海運(株)、山田港運倉庫(株) 3社の連帯保証で借り入れた長期借入金8億円の支払い状況は下記のとおりである。

(単位：千円)

年度	元金	金利	計	年度	元金	金利	計
12	7,735	8,429	16,164	23	50,184	4,379	54,563
13	23,104	11,620	34,724	24	50,184	3,881	54,065
14	46,104	10,910	57,014	25	50,184	3,374	53,558
15	50,304	10,331	60,635	26	49,984	2,876	52,860
16	50,304	9,691	59,995	27 予定	34,682	2,411	37,093
17	50,304	9,049	59,353				
18	50,304	8,474	58,778				
19	50,304	8,062	58,366				
20	50,304	7,409	57,713				
21	50,304	6,669	56,973				
22	50,234	5,279	55,513				

貸 借 対 照 表

平成 27年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 16,578,795】	【流動負債】	【 8,110,875】
現金預金	2,095,951	未払金	947,675
売掛金	14,482,844	未払法人税等	3,512,000
【固定資産】	【 590,340,678】	未払消費税等	3,651,200
[有形固定資産]	[589,967,353]	【固定負債】	【 120,159,000】
建物	997,372,574	長期借入金	120,159,000
建物附属設備	115,995,000		
構築物	35,782,000	負債合計	128,269,875
機械装置	70,454,000	純資産の部	
減価償却累計額	△629,636,221	【株主資本】	【 478,649,598】
[無形固定資産]	[207,719]	[資本金]	[465,000,000]
電話加入権	145,070	[利益剰余金]	[13,649,598]
水道施設利用権	62,649	(その他利益剰余金)	(13,649,598)
[投資その他の資産]	[165,606]	繰越利益剰余金	13,649,598
長期前払費用	165,606	純資産合計	478,649,598
資産合計	606,919,473	負債・純資産合計	606,919,473

損 益 計 算 書

自 平成 26年 4月 1日

至 平成 27年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 上 高	80,460,264	80,460,264
売 上 総 利 益		80,460,264
【販売費及び一般管理費】		66,086,266
営 業 利 益		14,373,998
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	1,887	
雑 収 入	1,918	3,805
【営 業 外 費 用】		
支払利息・手形売却損	2,876,677	2,876,677
経 常 利 益		11,501,126
税引前当期純利益		11,501,126
法人税、住民税及び事業税		4,527,681
当 期 純 利 益		6,973,445

株主資本等変動計算書

自 平成 26年 4月 1日
至 平成 27年 3月31日

(単位：円)

	株主資本										純資産合計		
	資本剰余金		資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	利益剰余金 合計	純資産合計			
	資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金 合計							
	資本金	資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	任意積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金 合計	自己株式	株主資本 合計			
当期首残高	465,000,000							6,676,153		6,676,153		471,676,153	471,676,153
当期変動額													
当期純利益								6,973,445		6,973,445		6,973,445	6,973,445
当期変動額合計	0							6,973,445		6,973,445		6,973,445	6,973,445
当期末残高	465,000,000							13,649,598		13,649,598		478,649,598	478,649,598

個 別 注 記 表

自 平成 26年 4月 1日

至 平成 27年 3月31日

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・建物は定額法、その他は定率法を採用しております。

無形固定資産・・・定額法を採用しております。

2. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税の会計処理は税抜き方式によっております。

株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当期末における発行済株式数

普通株式・・・9,300株

監査報告書

私は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの第18期営業年度の貸借対照表、損益計算書、営業報告、損失処理に関する議案及び付属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であると認めます。

平成27年5月21日

小倉国際流通センター株式会社

監査役 今井 忠 道